

壮年期

自分らしく希望に満ちた未来を創る

方針

- 1 コミュニティ活動に参画できる体制をつくる
- 2 生活を充実させるための環境をつくる
- 3 すこやかで心豊かな生活を支援する
- 4 家庭と仕事の両立を支援する

壮年期 (コミュニティ)

方針1

コミュニティ活動に
参画できる体制をつくる



目指す姿

地域社会に参画しやすい環境が整備され、地域の担
い手となる人材が確保されている

成果指標



現状と課題

- ・働き盛りである壮年期世代の地域参画が少なく、地域の担い手不足が課題となっています。
- ・児童・少年期、青年期から地域社会に参画してきた人材を、引き続き地域の担い手として参画してもらえる体制を整える必要があります。

今後取り組むこと



取組1 コミュニティ活動への参画促進

市民が知識やスキルをいかして、コミュニティ活動に参画できる仕組みを創出します。また、地域に関わる人の負担を軽減し、主体的にコミュニティ活動に参画できる環境を整えていきます。

取組2 多様な主体が交流できる場の創出

(仮称)大野城ファンクラブを創設し、地域住民の交流の場の活性化を図るとともに、市内外に大野城市の魅力を発信します。市内外を問わず、本市への愛着や関心を持ってもらうクラブ員を増やすことで、多様な主体との交流の輪を広げ、コミュニティ活動への参画の場を創出します。

関連する計画

シン・コミュニティ構想／シティプロモーションビジョン

関係課

コミュニティ文化課／地域行政センター統括課／プロモーション推進課

みんなができること

- 地域の人とあいさつするなど、交流する。
- 地元の行事や清掃活動などの地域活動に参加する。
- 自身の知識やスキルをいかせる場を見つける。

壮年期（芸術文化・スポーツ）

方針2

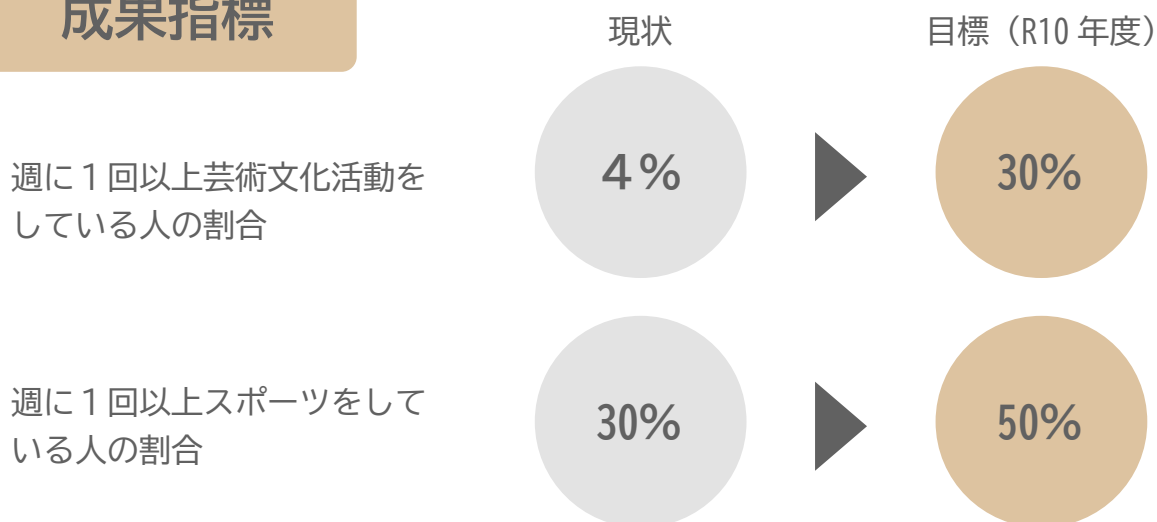
生活を充実させるための
環境をつくる



目指す姿

芸術文化やスポーツ活動を通して、人と人、地域間の交流が進められている

成果指標



現状と課題

- ・生活環境が変化する壮年期では、仕事以外にも楽しみや仲間をすることで今後の人生を豊かにすることにつながることから、自分にあった学習やスポーツなど生涯学習を始める機会を創出することが求められています。
- ・また、芸術文化に触れる機会の創出や、芸術文化を支える人材の育成につなげていく必要があります。

取組1 文化学習活動の推進

生涯学習や芸術文化活動の情報発信や芸術文化活動の支援を通して、市民が自分にあった活動ができる体制を整備します。また、いつでもどこでも読書ができる電子図書館サービスの充実と、読書ネットワークの構築により読書活動の推進を図ります。

取組2 スポーツ活動の推進

スポーツを通して趣味や仲間づくりを始めるために、誰でも簡単に取り組めるニュースポーツの普及や安心して利用できる社会体育施設等の活動場所の充実を図ります。

関連する計画

芸術文化振興プラン／読書活動推進計画／スポーツ推進計画

関係課

コミュニティ文化課／スポーツ課

みんなができること

- 自分に合った楽しみやスポーツを見つける。
- 芸術文化やスポーツのイベントに参加する。

壮年期（健康・医療）

方針3

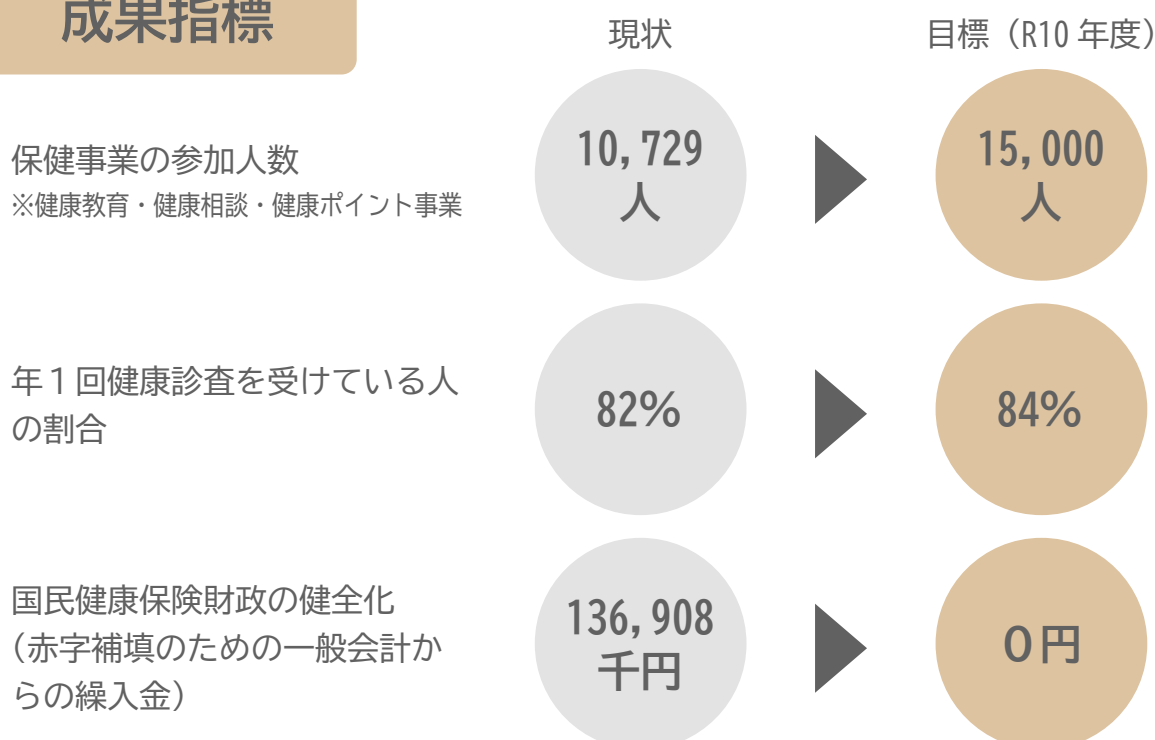
すこやかで心豊かな生活を支援する



目指す姿

健康づくりや生活習慣病の予防に取り組む市民が増え、病気の予防・早期発見につながっている

成果指標



現状と課題

- ・近年、新型コロナウイルスの発生や心の病気の増加、生活習慣病が問題となっており、健康教室や健康相談等をはじめとする各種保健事業への幅広い関心と参加が求められています。
- ・生活習慣病が生じやすくなる壮年期は特に、自身に合わせた運動・食事などの生活習慣の見直しが重要であり、各種健（検）診受診による体の状態把握や運動の機会の創出を図る必要があります。

今後取り組むこと



取組1 健康づくりの推進

忙しい日々の中で心と体の健康を保持するために、運動や食事に関する教室の開催や、心と体の健康相談、予防接種の実施等を通して、壮年期の健康増進につなげます。

取組2 生活習慣病の対策

各種健（検）診の受診促進を図るとともに、健（検）診の結果に応じた支援を行い、生活習慣病の発症予防・重症化予防対策及びがんの早期発見・早期治療につなげます。

取組3 社会保障制度の適正運営

国民健康保険の被保険者に対する各種医療給付事業を実施するとともに、国民健康保険の適正な運営に努め、安心して医療を受けられる環境を維持します。

関連する計画

データヘルス計画／健康・食育プラン／いのちを支える自殺対策計画

関係課

健康課／国保年金課

みんなができること

- 定期的に予防接種や各種健（検）診を受ける。
- 適度な運動を行う。
- 自身の心身の状態を知り、健康を維持する。

壮年期（家庭・仕事）

方針4

家庭と仕事の両立を支援する



目指す姿

子育てや家族の介護への支援や職場環境が整備され、生活の不安が軽減されている

成果指標

	現状	目標（R10年度）
要介護認定のある高齢者と同居している壮年期の世帯のうち、介護サービスを受けている世帯	74.7 世帯	85 世帯
男は仕事、女は家庭という考え方に同感しない市民の割合	79%	85%
就労自立支援プログラム参加者の年間就労決定者数	43人	60人

現状と課題

- ・ 壮年期世代は、子育てや家族の介護が必要になる時期であり、育児や家族介護者への支援、生活困窮者に対する就労支援、自立支援などの個々の状況に応じた支援が求められています。
- ・ また、男性に比べ、女性の非正規雇用の割合が高く、就業継続を希望していても子育てや介護を理由として離職せざるを得ない状況も依然としてあるため、男性を中心とした雇用慣行の見直しや女性が十分に能力を発揮できる社会づくりを進める必要があります。

今後取り組むこと



取組1 子育て・家族介護者への支援

保護者が保育所等に子どもを安心して預け、仕事を続けていくことができる環境づくりに取り組みます。また、介護と仕事の両立を支援するために、家族介護者の負担を軽減する取組を行います。

取組2 固定的な性別役割分担意識の解消

男女共同参画社会実現のため固定的な性別役割分担意識の解消に向けた啓発を推進します。男性の家事・育児・介護への参画を促進するとともに、子育てや介護等で仕事を離れた女性の再就職や起業を支援します。

取組3 生活保障と自立支援の充実

経済的援助などにより最低限度の生活を保障するとともに、ケースワーカーや就労支援員による就労意欲の喚起及び就職に向けた支援のほか、関係機関との連携や各種制度の活用により、経済的・社会的自立を促します。

関連する計画

夢とみらいの子どもプラン／高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画／男女共同参画基本計画

関係課

子育て支援課／介護支援課／すこやか長寿課／人権男女共同参画課／生活支援課／福祉サービス課

みんなができること

- 仕事と家庭を切り分け、困ったことがあったら一人で悩まずに誰かに相談する。
- 子育てや介護など、男女共同参画の社会を理解し、お互い助け合いながら生活する。